

第6学年 図画工作科学学習指導案

日時 令和5年6月16日(金)
子ども 6年コクレーン学級 27名
指導者 コクレーン 愛

I 題材名

ひびき合う形と色を求めて(絵)
(つながる思い5・6下 開隆堂)

<授業の見どころ>

子どもたちが題材全体を見通して作品をつくったり、互いのよさを味わいながら対話的な鑑賞を行っていただきます。

II 題材の指導構想

1 題材について

- 子どもたちは、これまでの学習で、作品づくりと鑑賞はとてがかかわりがあることを学んでいる。友達の作品を積極的に鑑賞し、「すごいな」「どうやったらできるのだろう」と感じる子どもの姿が多く見られる。しかし、一人で悩みながらつくる子どもの姿や、題材終盤に急いで作品を完成させようとする子どもの姿も見られる。

これまでの学習において、題材「学校へようこそ」(造形遊び)では、学校に来た方(1年生や保護者、来客者)に「ようこそ」というメッセージが伝わるような空間づくりの活動を行った。そして、見る人を楽しませる工夫を友達と一緒に考えたり、伝えたいことを表すために適切な材料を選んだりする姿が見られた。題材「カット、ペタッと、すてきな形」(絵)では、自分で立てた題材計画や前時の振り返りをもとに活動内容やテーマを修正したり、友達の材料を切って貼り合わせるアイデアに驚いたり、自分なりの美しさを追求しようとしたりする子どもの姿が見られた。

また、6年生になった子どもたちは「他学年にお手本の姿を見せたい」「最高学年として5年生を支えたい」などと、他学年とかわかっていることを望んでいる。特に5年生とは、同じ高学団として、委員会やクラブ活動、大運動会の団体競技に取り組む中で少しずつ仲を深めているが、普段のかかわりは少なく、また学習を通しての交流はほとんど行われていない実態がある。

これらの学びの文脈を生かし、図画工作の学習で自分が表現した色や形を5年生に発信することを通して、造形的な見方・考え方を培っていききたい。また、作品を完成するまでの過程を自分で計画するとともに、友達の見方や考え方を知り、自分の表現やつくる過程に自信をもつことができる子どもを育てていききたいと考える。

- 本題材は、スチレンボードに、身の回りにあるいろいろなもので引っかいたり、型押ししたりすることでできた模様を版画で表す題材である。5年生とのかかわりとして、自分たちがつくった作品を見てもらう「仁王高学団芸術祭」を企画し、本題材の作品を出品するという設定をする。

版画学習に関して、5年生の題材「色を重ねて広がる形」(絵)で行った木版画の手法に加え、本題材では、自分らしい表し方を見つけるために、スチレンボードの分割、再構成などを工夫し、様々な方法を試しながら、自分で作品を完成するまでの過程を考え、それを自分の作品づくりに生かそうとする力を付けるためには、適切な題材と言える。

- 指導に当たっては、次の二点に留意する。

一点目は、**自分の学びを「見つめる」造形活動**についてである。自分の作品づくりを客観的に捉えることができるよう、モニタリングシートを題材を通して扱う。本時の学習で、どのような活動をどんな順番で行うかを授業の始めに確認することで、見通しをもって活動することができるようにする。

【手立て1 「学びの文脈」のデザイン】

二点目は、**自分の学びを「深める」造形活動**についてである。作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり、考えたりするような鑑賞を行う。また、必要に応じて、自分の作品づくりに生かすことができるようにする。

【手立て2 よりよく学ぶ3つの視点】

2 題材構想図

題材の目標【絵】

様々な方法を試すことから自分のイメージをもち、型押し、切り離し、重ねなど表し方を工夫するとともに、作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、版による表現活動を楽しむ。

題材の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
絵	<p><知識> スチレンボードを使った版表現を通して、形や色の組み合わせとそこから生まれるバランスや色の鮮やかさなどを理解している。</p> <p><技能> スチレンボードによる版表現の特徴を生かして、型押し、切り離し、重ねなど表し方を工夫している。</p>	<p><発想や構想> 様々な方法を試すことから自分のイメージをもち、どのように表すか考えている。</p> <p><鑑賞> 様々な方法を試すことで自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度 版による表現活動を楽しみ、自分や友達の表現のよさや工夫を味わおうとしている。</p>

復興教育との関連

- **いきる「③価値ある自分」**
自分が表現したいことや想像したことを話したり共有したりすることで、より価値ある自分に気付かせるようにする。
- **かかわる「⑨仲間とのつながり」**
表現や鑑賞の場面で、友達と関わりをもちながら表現したいものを決めたり、表し方を考えたりするなど、仲間とつながるよさを意識する。

他教科・領域等

- 行事** 6年11月「全校音楽集会」
自分たちの日頃の成果を精一杯発揮するための表現方法を考えながら表す。
- 行事** 6年10月「修学旅行」
学校生活で培ってきた力を学校以外の場所でも適切に判断して自分の行動に生かすことができるようにする。

資質・能力の高まり

教科の学習内容

4年 2月
「ほって表す不思議な花」(絵)
不思議な花を版木に彫刻刀で彫って木版画に表す。

5年 2月
「色を重ねて広がる形」(絵)
彫りと刷りを繰り返してできる彫り進み版の技法で版画に表す。

本題材 6年 6月
「ひびき合う形と色を求めて」(絵)
スチレンボードに、身の回りにあるいろいろなもので引っかいたり、型押ししたりすることでできた模様を版画に表す。

6年 10月
「わたしのお気に入りの場所」(絵)
身近な風景について、自分の感じたことを大切にして表し方を工夫しながら絵に表す。

他教科・領域等

- 音楽** 6年6月「いろいろな音色を感じ取ろう」
どのような演奏にしたいかイメージをもち、思いや意図をもって楽器を選んだり、全体のバランスを工夫したりして演奏している。
- 行事** 6年5月「大運動会～仁王春の陣～」
仲間と協力し、共に活動する中で、所属感や連帯感を味わわせたり、相手を思いやる心を育んだりすることで、好ましい人間関係をさらに発展させることができるようにする。
- 特別活動** 6年4月～「委員会」
互いの立場を理解し合いながら、課題に対する解決方法を考え、協力して修正と改善を図る。

見方・考え方を働かせるポイント

- **友達の考えの中にヒントがあるといううらえ**
自分の発想ももちろん大切だが、友達の考えの中にも工夫したポイントがつかまっており、その考えの中から自分に取り入れたいものがある場合には必要に応じて取り入れるようにする。

願い

- ・友達の作品からよさを見つきたい。
- ・自分が想像したことを表現できるようになりたい。
- ・安全に楽しく学習したい。

教科の力

- 作品づくりと鑑賞はとてもかわりがあることを学んでいる。
- 友達の作品を積極的に鑑賞している姿が見られる
- 一人で悩みながらつくる子どもの姿が見られる。
- 題材終盤に急いで作品を完成させようとする子どもの姿が見られる。

子どもの実態

3 題材の指導及び評価の計画（全6時間）

時	○学習活動 働かせる見方・考え方	◆研究の手立て	評 価						
			知 技		思 判 表		態 度	評 価 規 準 (評価方法)	
			知 識	技 能	発 想 或 構 想	鑑 賞			
1・2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名や作例からどのような材料や用具を使ったのか考える。 ○ 「仁王高学団芸術祭」を見通す。 ○ スチレン版画の特徴を知る。 ○ 小さめのスチレンボードを使って試し刷りをする。 ○ 試し刷りを鑑賞する。 ○ 題材計画を立てる。 ○ 振り返りをする。 	<p>手立て1 学びを「見つめる」造形活動</p> <p>モニタリングシートを活用し、自分なりの題材の計画を立て、題材全体の見通しをもつことができるようにする。</p>		◎			◎	<p>版による表現活動を楽しみ、自分や友達の表現のよさや工夫を味わおうとしている。<作品・活動の様子> スチレンボードを使った版表現を通して、形や色の組み合わせとそこから生まれるバランスや色の鮮やかさを理解している。</p> <p><作品・活動の様子></p>	
3・4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の振り返りから、題材計画を見直し、今日の活動の見通しをもつ。 ○ 自分のテーマに合わせて版をつくったり、刷ったりする。 自分の表したいテーマをもとに表現した形や色 ○ 作品のテーマに着目して鑑賞を行う。 ○ 振り返りをし、次時の題材計画を見直す。 		○	◎		○	<p>スチレンボードによる版表現の特徴を生かして、型押し、切り離し、重ねなど表し方を工夫している。</p> <p><作品・活動の様子></p>		
5 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材計画をもとに今日の活動の見通しをもつ。 ○ 互いのよさを味わうとともに、作品づくりに悩んでいる子どもの作品を鑑賞し、気付いたことや感じたことを話し合う。 ○ 自分のテーマに合わせて版をつくったり、刷ったりする。 自分の表したいテーマをもとに表現した形や色 ○ 振り返りをする。 	<p>手立て1 学びを「見つめる」造形活動</p> <p>題材計画をもとにつくったり、鑑賞したりすることで見通しをもって活動することができるようにする。</p> <p>手立て2 学びを「深める」造形活動</p> <p>友達の悩みを共有することで、自分の見方や考え方に広がりをもたせたり、作品づくりに生かしたりすることができるようにする。</p>			○	◎	○	<p>様々な方法を試すことから自分のイメージをもち、どのように表すか考えている。</p> <p><作品・活動の様子></p>	
6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材計画をもとに今日の活動の見通しをもつ。 ○ 自分のテーマに合わせて版をつくったり、刷ったりする。 自分の表したいテーマをもとに表現した形や色 ○ 「仁王高学団芸術祭」に向けて自分の作品についてロイロノートにまとめる。 ○ 振り返りをする。 	<p>手立て2 学びを「深める」造形活動</p> <p>「仁王高学団芸術祭」について再度伝えることで、「自分のテーマが伝わるか」という視点で鑑賞を行うことができるようにする。</p>				○	◎	○	<p>様々な方法を試すことで自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p><作品・活動の様子></p>
課外	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「仁王高学団芸術祭」を行う。 ○ 互いの作品を見合うことで感じたことや考えたことについて振り返りをする。 								

○…題材の評価規準に照らして、適宜、児童の学習状況を把握し指導に生かす。

◎…題材の評価規準に照らして、全員の学習状況を把握し記録に残す。

Ⅲ 本時の指導

1 目標

- 自分のモニタリングシートをもとに考えたり、鑑賞したりすることを通して、自分のテーマを表現するために、修正しながらつくろうとしている。

2 評価規準

【思考・判断・表現】

＜発想や構想＞

自分のイメージを実現するために、よりよい方法を考え、どのように表すか考えている。

＜努力を要する状況の児童への手立て＞

モニタリングシートを手掛かりに、どのように製作を進めていくか、教師と一緒に考えたり、どのような鑑賞をすると手掛かりが見つかりそうか、子どもの考えを聞いたりする。

3 展開（5／6時）

段階	学習活動 ○発問	時間	◆研究にかかわる手立て 予想される子どもの反応	・留意点, 用具, 材料 【評価】
導入	1 問題把握 ○ モニタリングシートから、今日はどのような活動を計画しているのか発表しましょう。 ○ 前の学習の振り返りから、●●さんは、自分のテーマを上手く表せずに悩んでいるようです。みなさんなら、どんなアドバイスをしますか。	5	<ul style="list-style-type: none"> 今日はスチレンボードをカッターナイフで切り離して、刷りたい。 前の学習で友達の作品を見て、連続でスチレンボードを刷る方法をやっている、いいなと思ったので、それをやってみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の振り返りからモニタリングシートの題材計画を見直すことで、本時の学習の見通しや意欲をもつことができるようにする。 タブレットを用いてグループ内の子どもたちが対話することで、悩んでいる友達に対してアドバイスをすることができるようにする。
	2 課題の設定 自分のテーマに近付けるために、どのように版をつくったり、刷ったりしたらよいのだろう。	2	<ul style="list-style-type: none"> テーマである「海」を表現するために、フォークを使ってもっと波を表現したらいいと思う。 	
展開	3 課題の解決 ・ 自分のテーマに沿って、つくる。	2 7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;">つなぐ えらぶ つかう</p> <p>●●さんのアドバイスから、(つなぐ) 私はフォークを選ぶと、テーマである「雨の夕暮れ」の小雨を表すことができそうだな。(つかう)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> スチレンボード ・ 版画用具一式 カッターナイフ ・ フォーク ペットボトルキャップ ・ へら ドライバー ・ 割り箸 等 カッターナイフの使い方を掲示することで安全に取り扱うことができるようにする。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【手立て2 学びを「深める」造形活動】</p> <p>互いのよさを味わいながら、自分の見方や考え方に広がりをもたせたり、作品づくりに生かしたりすることができるようにする。</p> </div>		
終末	4 振り返り ○ どのように題材計画をしたり、友達の作品のよさや技法を味わったりして、自分のテーマに近付けようとしたか。	6	<p>【期待する子どもの振り返り】</p> <p>私は「春の木漏れ日」というテーマでつくっている。前回の学習で○○さんが同じ「春」をテーマにしていたのに、ピンクではなく黄色で表現していた。理由を聞くと「気温が上がって、人の気持ちも温かくなるから」と言っていたので、今日、私はオレンジで刷ってみたらテーマがもっと表現できた。他の友達にもアドバイスをもらって次の時間もつくってみたい。</p>	<p>【思判表】</p> <p>【発想や構想】</p> <p>〈作品・活動の様子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題に沿った振り返りができるように、自分の作品を見ながら振り返りを書くようにする。